特別
ル4
5597
6

出羽新古案出国巻之六目録

廣隆寺 付奈
大内山 付宮山
廣澤池 付座禅石 咒石
宮尾 弥陀ヶ 地蔵院
大澤
姥生院 紙ヶ
水倉嶽 宮ヶ山
天狗ヶ 付佛川ヶ
兎宿山 付懸京
永笠山
笠畏 付笠池 村時
常願池
桂尾
大覺ヶ
三宝ヶ
二宝院
鄙ヶ 付ヶ巣川
木尾
月輪
大井川
仁和寺
時雨 付文神佛 雅元山
遍照ヶ
梅尾
嵯峨野 付釈迦堂 清涼寺

阿陪氏

七冊之内

アヤキ
58 2045

亀山
小督塚
松尾の神
梅宮
大原野
白明神
琴引浮橋 付橋板
水無瀬

荒川 付民家
法輪 紅葉名所
西方精舎
栗生光明寺
小倉山 付良琴
槙尾山
久世 付福田寺
高槻村

戸難瀬
嵐山
梅津 付川
葉室宮
佐江野沼
神南備社 付久我
伊勢寺

京都帝国大学図書

[illegible]

廣隆寺 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

和山の里のあるあり。[illegible]大臣すこのひしり山のうと
七郎の天とて毒目の赤社れりまん。或人とあ西の高ふ
るあ蓋とをまんとつて形とたて。ぞそ〳〵ちゞ小祢社
光〳〵ゆかうり
法花と　高ふ〳〵[illegible]とまぐこひ行つとあ西の天りん
河内が千うり
秋こゝ小雅とそみうこ教行衣蓋昌こうふかりつん
あ[illegible]大宿の西の天祢さへやこう衣蓋社山　でこ社
仁和寺　御室
ふ心ちうと西りあり。宮うあ西天宮と寛平元年八月ふ
山祢りう宮とそ行ゆ。はあ[illegible]とあづ〳〵宮海れあ
の弟子高紀河宗秋佐[illegible]乃孝沖ありこうり。宮うあ
帝ゆ。仁和の帝一第七の[illegible]子とうして。[illegible]佐十[illegible]寛平

ゆ年七月うり沖佐と延喜帝一ふゆつり昌泰二年十月
うり沖れ宗あり。はあとを[illegible]とを[illegible]たとて宮の
号号と稱し。宗ちあ西ひて灌頂堂うのゆり仁和寺
ゆうゆふ西ゆ西とゆうゆ。[illegible]たまひ佛灯河宮秋
佐りゆうゆ。第千元ゆ元年七月十九日ゆ崩じ奉り
ゆ千ふ寿とゆ
弘法大師沖新堂西ゆり。月毎乃廿一日ハ弟子宿
ゆ。三月廿一日よりこゆ文うり寺集ゆ
大内山　付西山
仁和寺乃上ハ山也。行ふ[illegible]つゞきふ西山わり。祢蓋西大
佐の千うり
大内山乃紀乃紀ゆ[illegible]石ハ大内山乃あとゆ[illegible]
西寺ふ[illegible]ゆ

蓮池 付 蓮池 未詳

江戸の東のくわの原にあり。ひろさ一村ばかりにして、ふるく寛平法皇の延喜年中、此所へ蓮を植られしとぞ。其後、此所の方角、ますますすたれて、蓮のみ多くなりぬ。

其秋の蓮の花の咲出るを、雁とぶらい梅の花とよめり。此蓮、雁とぶらい梅の花とよめり。此蓮、雁とぶらいゆくたぐひなり。蓮の花の咲出るを、雁とぶらい梅の花とよめり。其蓮、雁とぶらい行きて、うゑどころをたずねるなり。

わがやどの蓮の花のうつろひぬ
とよめり。此蓮、新屋
同白河の双の岳の松のえだに、蓮の花のさきたり。合やと

鳴瀧

これハ西滝とて七滝乃一也。仁和寺十町ばかりあり。
俗称ハその辺り
鳴瀧の西乃川ぞいに今ハ
西ノ法師
志ゐてうの山つゝきにせゝらぎ流れて清ふかなる瀧ハ川
岩根毎にくゞ都なり
志ゐてうの山つゝきに今ハ板ひらぶかなる流乃川
山ゐてうのどとゝくらもゐてうの山ゐてうの法師ゐ
和尚乃寺基なり。新寺なる法金剛院などゝ数くゝ
しゐ。又山ゐてうの山乃大佛と石ゐて作くまるゐてうの
神仏とゐてゐれハ武尊乃大佛作ゐてうの且鳴瀧
志ゐ他なり

極楽山ハ鳴瀧ゐ西ゐてうゐ。わゐ也所と知ゐ所ゐてゐ
ゐてゐてゐ。ゐてゐ山ゐてゐ
ゐ瀧ゐ極ゐ山ゐてゐ山ゐてゐ
廣沢乃池のゐてゐ銀杏と極楽の山ゐてゐみゐ流

廣澤池

鳴瀧ゐ西乃ゐ十町ゐてゐ廣澤乃池ゐ月の
名所ゐてゐ世のゐ乃人ハ乃月ゐゐてゐ
どゐ多くゐ奥ゐゐゐ月ゐ池乃ゐ流ゐ
池ゐ月ゐゐ池乃西乃方ゐ居ゐ所乃山の
端ゐ月の西ゐ池乃ゐ月ゐゐ月ゐ
ゐ人ゐ

古ゐの人ハよゐ新ゐて月ゐ池ゐ廣沢乃池 源氏物語
廣沢乃池の流れ柳ゐを流ゐ去毎ゐ流 万葉集

廣沢の池より西の方に八町のとう巻たるやうにして
まことに廣沢流義として一流をなす
また乃子寛平法皇小沙弥にして寛朝阿闍梨の家
家となる〳〵一流也
廣沢の中の山際に座禪石とて行ひられし跏趺の
座を彫の中より石あり〳〵と伝信
座禪の中より鏡供僧の中より鏡供僧
延喜帝〳〵此勅とうをして〳〵野山〳〵
乃龍と云〳〵〳〵沙弥とそうぶ衣と云弟子〳〵人也
生禄石の中にかくれ〳〵。小石の面たいらなるあり。兒石也
小石〳〵。鏡供僧〳〵。此兒若くる石也又廣沢の
面の面乃ちかくに小石〳〵。兒若くる石也
〳〵〳〵。池のうへとそうとかの兒信
石とて

節分池
廣沢にも。東乃方に。浩のうへにかくれて。寂しき池也。
此池より西に行りて。唐の
白〳〵池のうへ〳〵節〳〵より行りて人とりうふまして
〳〵〳〵。小家の家舟房
此衣鉢さらして。節分の池乃藻ぶくこそゆらん
適帰る
廣沢乃西の小のうへにより。今〳〵〳〵。
乃〳〵。寛義家貞。初家〳〵。家〳〵。
年年小伝〳〵。補〳〵。〳〵〳〵。
〳〵〳〵。〳〵〳〵。〳〵〳〵。
〳〵〳〵。〳〵〳〵。〳〵〳〵。
〳〵〳〵。〳〵〳〵。〳〵〳〵。

うかの神ぐふみ者さ勢行ふり。人ちのまるて行ぶ和
まりて御薗のこゝをとゝ衣ぬをとゝりうふ目出
りうかわるをとひりうれハ家貞サ和
山ハ花ゝ衣ぬ山やたまをとゝをとゝ
とりありけをハ神りぐりかこゝ千ふ丸で左まへ
てぐしあられとゝりもふりしを地りて御ち中信よ
をりををりぐ和ぬまりと出ふせしこゝ。和ま
新房

為をとゝハ行をちもを丸和ぬ金剛面昭とふ

雅 神楽る付地蔵院

京都ちも乾ちをりあるて行祖一宮俗也。
春絵ちゆをハち部の宮ゝ院と親しまひを段大臣を稲
俗とを先わまりをとゝ行とゆりりりんをとうを

行ちをハ行をちら。和ゝ松名をゝ人と新俗りをを也
しふハ橘大臣藤山ま一をりべりをとをわり。松名を
ゝりをのまりふ参ゆりをりゝ。天ゆをいりりひわりを
りられをりゝ。かくハ行ををりて。松名ゞ面是とを和
ちりて雅山よすをら続しよゝ多のをを行りひて宮
の中よふ地わりを。松名ゞ是と和ぶふり。をりを
ゝを金ゝり書ゝ名ゝふ歌行ありゞりゞをちをりつく。
神俗ちを号しハ橘ゝ雅ちりりを新ちで先ハ
神能ちを号ちゝを。天長二年よ神護国祚ち
言寺とわゝ左ゝふ。京ちを義武ゝ左ゝ世わふして文
先ゝ人と号ゝをゝを又中古お俗して春奥ちゝを
ゝや。玉葉集ゝ名ゝ墓ゝ乃ゝ

雅山清滝川と庭まて名ゝけりふ松ゝ毎道

言葉上人の手ずから
清滝乃瀧の水たたゑ山人も爲乃風そ身みを
ちへ人とともにあとお茶乃ゑ乃名ところゆく世の三人ゑ
ふぐあ。或ハ鶴とけうとうとしいひ或ハ山桜ゆんりうそ波
らんとふぐゆんさり。三回乃お茶ハ神おうて八茶うわ
ゆ茶ゑも一しかよ。清ゆ井ゆ水ゆしうど
ひ茶乃ゑゆらゆを行ゆ日ゆ乃屋くわゆとハゆゑ
ゆ井とゆゆさんゆゆやうふゆくゆ。わやうゆゆゆ
枯荀鶏ゆ車とゆらゆゆ桜そゆゆうゆ相乃言ゆ
いひゆん。抹ゆゆう酒とゆうくゆおゆゆ殺とゆゆ
ゆる人ゑ信お茶と祈ゆゆ秋とゆうゆれゆゆ
ゆゆうゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ殺とハらゆどゆうゆゆ
ゆひけゆゆゆうゆお茶

言葉

こゝ雅山あり。しよまつ村山もむかし紅葉の色
北義経ちもとうふ源さ溪と乃ゆうとうそう。茶茶
不ちもとぎ〜を風俗まどゝう。かつ〜ゆとう。
なげ神をぱらもくとめぐつそぬやうに乱うつ
わうさ海。明様乃花うたりふ也。海月乃ゆうとぐ
ん花して。奥とうゑし。仏ゑも京格ごさ京塔也

樓尾

ちてハ二百ゑ十歳と拾とつゑ。法五ゑ律法ゑう。ゑ雄よ
つとハ七八所。つう小うわう新仮撰和ニ集よ。先祖
ゑ雅理ゑ乃ゑ

まとても雅ゑとゑむ。ゑ樓乃尾山のゆゑよ定
あまゑの法五ゑ。ゑうゑうゑ。ゑて仮ゑ。ゑとゑゑ歳ゑ
実吉雅法雅夷月ごと乃布。ゑ。とでゆく法ゑ歳よ

いゑふまでゑとゑ。いんゑまゑ。ゑうゑうゑんゑ初ゑ
舟房ゑひつでゑゑ。

為八面紙飛八弼警様

梅尾

ゑ雅ゑうと面ゑうゑよゑう。ゑ面ゑ上人の風雲ゑう。ゑ
上人八飛ゑり智徳とぐれゑうゑ。ゑ和ゑ乃尾さ
へゑゑかゑて自遣ゑ集ゑて。ゑとゑゑめて言ゑとゑく也
つゑ。法ゑゑゑ寿ゑとゑゑ。ゑ。ゑ。

とて、ゆきてとまりぬるや。まことにわうぢのやうにて
飛瀑もさゆるんかしてゆきあるかの原
わたる花とうたがふまでこそみてぐれ結ぶしるし

大澤

遍照寺の大沢のほとりに大きなる池あり。樹木おほくして岸高
ふる雨にはかりの水ゆたかなり。後鳥羽の院の月
大沢の池のもりにすみゆきかはらぬ秋の月
信濃とて青苔生ひ深き池に魚もとむるとかの

大覺寺

わが宿にはよりたるかのうらにあり。清涼殿の御前の池
は天皇八幡宮にまいりたまひしとき、中宮の御産の年、
うり山の宿と清和天皇おはしまして
たまひしより千年にいまにいたるまで、池
清涼殿の前の池にて、とりの池、とて歌
清涼殿

京都の西二里ばかりにあり。民家まばらにて
らびおのづからにて、人ものどかなり。殿中の後ろにのうよ
りてたよりあるもとのかたちの形にて、清涼殿の前の池

定家卿

[illegible]秋乃さゝ[illegible]

[illegible]清源乃清源るハ名ハ知人[illegible]首鶏[illegible]

檀乃粧也[illegible]

[illegible]の軍[illegible]乃信ハ元亨釈書[illegible]

い秋空乃月[illegible]

[illegible]

[illegible]

とえ初めも枯らと陸奥の国の林より行りてろくさ
と書付て親子の兄弟三人かぐ〳〵はるゝ河こゝろりて尼
うりもちゐ伝はかの山にて山をうんてかぐり給〳〵紙ろ〳〵
ろうく製とうらと法と志ろくふて又はるゝ人へつ三人かぐ〳〵
志佛ものとあや紙ものを毋一紙女十九毋乃月自年二伝
はかのナセこうや法白の流長海堂乃色ろ様よ三人が
品とのをて沙志ろうあろ〳〵〳〵
法堂よりれて神乃色ろ紙をて紙安しあるぎつろ

三窟寺

性生院乃前ろ行つ。性善小松内大臣平宗盛ことし
部ろ。沙口ろ来射射ろ〳〵ろの建礼つ院乃女房横
笛ろうちろ〳〵しどゝ文きろつきてぞ人乃はは法いぐわん
とゞさ名〳〵ろバ沙口十八ろて初家〳〵さるよころろと

ろこ笛こゞれく弱来つろ〳〵よ。お爺ゞとろ新山ろ〳〵川
ころ沙ぶよこ弟も尼ろ法ろ尼ろ有て京ろ乃法ゞ志ふ行と
ゞて。沙口八道ろとこ〳〵〳〵
そ沙ろてゞ〳〵ろ〳〵た様ろ西ろ乃ろよ人そろ毋ろき
とろろて法ろ〳〵ろ毋いろこ弟の尼ゞ
そ沙ろてもゞ沙ろ〳〵ろ乃ゞ様ろ川〳〵ゞ人きろ法ろ様
川毋も堅国乃尼ゞ様ろ川〳〵ゞ人きろ法ろ様
毋よめ沙お様毋尼
芸仏乃一ろ前ろ様ゞ様毋やそろろと沙ゞそろく

二尼院

法涼ろ様ゞ堂乃ろ有ろ〳〵。法涼歌ゞ乃二仏ゞゞ
ゞ毋ゞ前ろ。二尼院ゞ法ゞ上人ゞゞ毋ゞよゞ毋ゞ
毋ろ尼毋乃新ろ。法毋月輪相国花毋実ろハ

源定上人より御はかうの時風呂を焼をらせど
人どもとてかきれりぬ上人落涙をうり御祇と畫像
りうつさせはよと上人うけ給へ入あへり御
とかきりけるバ法印是乃ハ
上人ゑ畫ハ解りかはりとはかまひしらハ畫像の是と
引いまるひしとぬ所うり是ハ是の御祇とうつ
ろ二條殿御廟道ちの
是ハ乃山ゑの写乃ゑうゑ
てゑ乃ひしとそ御ゑ被
歌也法法とそ此ゑうゑ
小倉山
二号院乃うゑ法也紀ゑ
夕月和小倉乃山ゑ時
西り法師ゑうゑ
雅倉山ゑとゑ
是ゑ
小倉山ゑ西法乃和ゑ
はゑ和法ゑ乃ゑうゑ
ゑり此ゑ乃ゑうゑ
とうみくゑれう
封乃此法ゑうしゑ
寂光ゑ
き是ゑ乃小倉の山
てをうれ
三位後成の息和千丸中

乃むとの地蔵保元年にうつり住せわり。仁治二年八月九
日。正三位中納言ふじわらの藤原定家卿。家七十九。はじめ明月記と号
せり。新古今集を撰ばれ乃ち二人ありといへども父乃妻小倉
殿乃ち産り給へり。新古今集の中どもとも
しかるべきうつり侍りしかども。新勅撰和歌集に定
家ひとり撰ばれ出てといふ。ぞくやうけ
乃ことを海ひろうる義法の方式をよいとてみか
野一ヶ所 付ふ巣川

二条院乃西よりわたの中ふ社わり。是ハ名右
小柴垣その形ちとしてふ物ハ無
い事仁ヶ所乃沙汰ハ事おこりて侍ハ命より
ちゝまはり。無文乃ちゝ乃ハ事ハ乃ち世ハ
いまゝ嫁し給ふとト宮ハ侍ハ。次の年乃冬

復わりて堅ヶ所よ入あひ次乃年八月乃ち又ハ復乃
て伊勢へ下ぶ。ちゝ乃ハ式よ復あり。新乃
伊勢ヶ所乃ち伊勢ヶ所乃ち堅ヶ所ハ
ちり。於義乃ヶ所ハ乃ち巣川よ
昭ぶ。無文乃れ乃ハ
川とる巣川とハ
題乃事

ちゝや乃ち無ヶ所巣川ハ堅ヶ所ハ
ある程よいを祭ちゝ法師ハ
又下ハ城乃川船と云
いとも。ゆ。ゆ乃ちゝ
川とハ。ゆ。ゆ乃ちゝ
絶乃。桐壺の帝ハ

乃河内国にて家をうしなひ、秋好中宮とうまれ給ひ、
母御息所は伊勢の国にて、源氏思ひてかなひ給ひ、
秋好中宮は伊勢斎宮にうまれ給ひ、
つまて伊勢にてうまれ給ひ、
こゝ河内の源氏は、
らこゝにて、
命長く九合三十一代なり。
主ゆく末はるかにとゝ
[illegible]

[illegible]

水尾

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

水の尾の川辺よりわくよりなをきよ

天竜寺

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ちと怪しとて、ひと跡石宮とこそ宮とて号とぞ。元仁
二年うし。は毘沙門を安置奉りて国師号とたてまつる
氏わが年ちと高く。宮の竜山て詩ちとづもちる
是利生義へ在恵云得門内海法わり。親鸞二年う
迄化わり。七十七歳とつつ

東海や大物ちつくて天竺の川名うとも此所そこ也
清滝川

ち祇ちと立とどり雲宿とこてゆくたの山の葉
うふうくぺうもちん清滝川とつぺそ宿ふまうづ
へまづ山川うて祇園とうや

後鳥羽院の御宇
石清水八幡宮の御宮司法師の子
[illegible]
信西物語

[illegible]
その門の名を石清水八幡宮と号し
名を呼び清滝宮と号す此の縁の起りは帽子[illegible]

月輪

[illegible]
乃ち[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

しるを面ありしかぬ二人の者をしてゆ悲義竜樹菩
ぼつ雲深明まわるつまえりやうしかぬ天くまうう
帝ときまし給てぬ山よ結とそくゆるしつぬ
京文後注所ぬ山とひるうきて冥山とおりとぬ拾と
和午集りこ条大臣
おきるおきる尾の山ふひろ人あるを焼やうたん
とよめりそる尾いわるごりの別墨ありしよ
その所坊ハ紀伊国吉蔵にて弘法大師の弟子
る雅山りこりぬ紙ぬ出りり深夜の屋り
まぐしへ貞観二年二月ハ高天ぐ天狗ハおまりと
ぬ。こを色その所屋ありしでき妙原
教そ初りとりるあるこれそ後のそ狗だのと
墜ぐ原とりハ所ぬ出ぬ原りハ

わさこ山ときこゆ家ゝにてうゑたりしこの俤ふりかゝ
又わさこ山
西ひろく〳〵新ふるみそれ作ときこゆ家ゝふれふる宮
樓とゝろ歌て樓(たかどの)とゝろ歌て樓(たかどの)とゝろ
わさこ山やまれわさこのまつゝとゝろ樓(たかどの)とゝろ
麻背(クヘ)山
かくてみちとりゝ麻ふとゝの景と麻背山とゝつ
俊色法師ゝ行ゝ
紅葉わさこ山ゆもゝかをせよ宮ゝまつ山ひろせ山
ゝ宮ゝ行ゝ
ますゝ坂の月て俊て宮ふりけふゝろゝせ山
さて歌〳〵はゝとゝひけゝ新春新春
宮ゝて宮れわさゝもゝとゝせ山よ山ゝ

大井川
又ゝゝゝ大井川ゝ河ぞゝよゝゝゝ山川ゝ丹波(たんば)家よ
ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ
ゝゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ
ゝゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ
ゝゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ
ゝゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ
ゝゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ
ゝゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ家ゝ
大井川ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ生忠ゝ
ゝゝ大井河ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

なとは所の手ともかきうりたるを和歌屋
とうたふ門流はよそのうり新そそろうを教おかれは

亀山

大井川の岸をうりたるをとれ山あり。注曲ていは亀山流
の別家なりしかは年紀三年
うりうる民部家一義宗師とたうしひ亀山殿の
四位をうづで安義国阿波の杜をとりもとれ
ゆるとはくつて義宗をとる家山とうり。熟宴僧紀の
手うり

亀の屋の山代義つくりたる亀の代りもうり
とうりい亀山殿の沙汰也。はるる相流御家うり
亀の杜の山をとるうり
は源義経沙家うり

亀山の義村うて見原をは清滝川りのように織士
てさ弁原うくで沙汰屋きけの

大堰川井をさかうふ浮木をかりてとひん亀の宮ない
若り河　付る代方ろ

京師　京るの面ゆるはのうるうとに若川のをうり。
うくれ若川と曰ふ別和ふり。清流ていをうりれ行
川の別ふひりそのうちえ若てうと別ふひり。伊勢
物語より仁和のみりでせり川りう別ふ幸しのひうりとい
ふりこをはいとの別ふとそ沙物の事也相撲集よ
仁和の見りと清瀬の事の例とそ若川りう別ふ
ふひうる日立原別平朝臣

さう北山とのさ浪ひ若川の亀の右左あるとあるうそり
とありこの世の古左は亀山殿りある左とうり海と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

戸難瀬の滝

大瀬川乃うしの滝也後軒羽[illegible]

[illegible]

後成ゝ千ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小磐橋

天然[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゝ。きわうちうけ。大井川うり分とゝかけ。ありとうや
今とゝやつふといわとゝとりうとゝてあぐくまと
ゝ行ってくぞいひうの初本母

小巻桜ちりて流るゝ大井川ささふむ〜乃花のとゝこと
法華寺　歌屋井

大井川乃面の巻わしゝ山乃ふとゝうあり。道昌法師
乃冥巻として初めい菖井ちと号帯しとゝ
るい大宮乃巻乃巻三流ゝり。道昌巻氏ゝて後法
四巻ゝ流ゝ三和乃人命ゝ。ゝ河ゝ乃ゝ
弘法大師ゝ灌頂ゝ。ゝ
肉裏ゝ乃ゝ巻ゝて仏名懺悔乃尊師ゝ
法和ゝ巻ゝ宮本ゝ。ゝ
食ゝ乃花ゝ乃ゝ巻ゝ道昌ゝ

帝王の龍顔をうかがひ給ひて
こゝろ中のもの新しきことをそうへてただ一時のうち
先くさをわけ。宮下諸臣八國にわたり。天子の四月
下して修人よ重ねるとこゝまあ百おかりをふりかけて
八御合ゝしに山原の龍りうとやまれりうをみて
こゝろとこゝろ重ねる乃数とこゝろと事をとゝのへ
あり日。左昌乃衣の紐よ虚空蔵ゝ蓮わりの上をの人ハ
そ乃紐とこゝろてかゝ浮雲とうけてとこのもうこ安
宝とこゝろぶくで先和国中小大井川渓水おびゝ
しゝろとゝを一人出ゝ川ゝぎちんとせらを
しゝ。数百人集りて修りしを地主人ハみか修人ゝ
しゝを中よ彩壱ゝ
年二月よ遊化わり年八歳ゝで

堂乃四海のおうし[illegible]本尊乃ゆつわり佛光寺貴
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]と[illegible]と[illegible]ハ[illegible]ゆ[illegible]て[illegible]
[illegible]

と[illegible]乃[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
幸堂のゆ[illegible]ゆ井わ[illegible]
うて[illegible]ゆ[illegible]時[illegible]
[illegible]

嵐山

注梅[illegible]乃[illegible]の山[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]

大井川あらし[illegible]
玉葉和哥集より後拾遺
[illegible]
[illegible]
嵐山[illegible]
[illegible]
[illegible]

いんりうとてあるのやとおとひくはとさひけり。
もの本ぬ原

尾山よりそ川橋、いわゞ橋、おなを松とりてけん

杉尾明神

天武天皇のはつ〻大宮大元年に秦都紀とゝ人
さゞ奏て山科と立て大山咋神しるしを顕し
の日吉明神と一体なりこゝ宮大元依姫の
元ひとりもち丹塗矢の化しなる神なりとい
ひ。一条院ゝ奏て行幸あり。寛仁元年十月十
四日申刻日吉明神に員外正一位の
宣旨とゝ。祭日月と乃申刻日吉明神と人系神
りとゝ宮廻上人系神りとゝ人系
よ。門のうちうち奏りとゝ庭をもう新乃とふゞさ
ひげうりて立居ゝ宮ゝ人系杉尾

明神ありけるゝ。ゝ人系ゝ人系ゝ人系
つとのさまゝ上人ゝ人系ゝ人系
り系ゝ。源ゝ人系ゝ人系ゝ人系
乃行ゝ人系ゝ人系ゝ人系ゝ人系
ゝ乃ゝ人系ゝ人系ゝ人系ゝ人系
尾ゝ人系ゝ人系ゝ人系ゝ人系
卿の乃ゝ人系ゝ人系ゝ人系
ゝ紀ゝ人系ゝ人系ゝ人系ゝ人系
ひりくゝ人系ゝ人系ゝ人系

杉尾の仕ゝ人系ゝ人系ゝ人系

西芳精舎

西尾の南ゝ人系ゝ人系ゝ人系
ゝ乃庭ゝ人系ゝ人系ゝ人系

あやしきと信二人ありきをたゞ一人してこれをうち
殺ぞ。殺害人の装束と見られあるべしとて
湯村とをとせさう。湯村ふかしとその湯村と井性を
しかの件の装束をけて湯村ふかしとその湯村と大竜
ちうちうとうやさ屋ちよ行とて名所ありもの歌
屋敷の面とかく
雲ちる跡岩石の形屋敷ときれ
梅津 付川
杜鵑もうとあよりの梅津川に舟浮しあり。恵芳法師
八千代
梅津川とをとうあれ
軒端法師 徘徊の

桃園の桃の花とうぐいすとの哭よりうまれしうハ
公資朝臣

梅はなの梅ハちりやすしわれんとつもりとや
てらす春つゝ屋つゝ屋ちさけり
なるけやうの梅はよ毎年毎年と作りかつもり

梅文

此文ハ京師七条の西わうとのふかよりわう
橋の白石ハ紫色殿大臣西一位橋清友公ハ沙婆法花
ちうハ沙婆ぞ。法滅を白石ハ白石として和尚ぞ
ぞ白石。仁明天皇ハ沙婆白石として。國文安政元
年人として白石つ。ちうとうれもうく佛道よりハ
仏毋と称ひうつ。仏毋ハ紫色と称ひうつ。
つて橋氏の先祖ぞ。白石大臣橘元正ぞ

白石ハ沙婆ぞ。白石ハ沙婆ぞ。橘清友と白石ハ
白石として。橘氏の祖神とし。永正ハ年毎
白石ハ沙婆ぞ

とうぐいすハ白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。
白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ
わかうとハ白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ
白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ
白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ
白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ
白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ
白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ
白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ
白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ
白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ。白石ハ白石ぞ

屋ふき風うちくるおわりひいろにまかぐりの。日
ごろうりんとうけまいて殺とうかよあてかた
あてまつることもかしかりて大根のあいまり。者か
らたのむまわそくひわそくしらくろ。四奉の
ひとりのらしとをとめ〳〵れさ先なりしそのあと
とも一奉とろづくえ奉えしもやそとうや。世よいひ
たえとはえのあなかたなる物とうて者屋のトふたけい
うりぐそ年先してやちをとろ。白石のはちひりとい
ぬの信部をさきの三てうり

文とへ今花咲毒のえれたてそあのさうとさうん
梅の氏神えれ物めえとあるをれうとたあるとえ神新
宮生光明る
源空と人い蓮屋二年正月廿八日小迎化りとしては

大石のとの智恵院うり。恵よ尊つらしよ。ひえのひ
の大えがうて大神人とかくひぐをせて源空と
人の使とりかうし賀茂川よりぐとくうしやくをバ
聖親房小下の井あまと人の御屋とこうたんよ
しけうとは宮人もちとしるとやしくしらハ二ろ流よ
して大尊よてさし。白骨と大物川よりぐ。四郎
の流りとぐまうと給人とハ源しをうくさ方あるとく。
井ふまきあるくあれもの。山雲生のおなる井垣う
かぐまかつと光明とうあうら給人。御給とえ
りぐ尊さ人うり源空と人の四骨と書付あり
すかうちとて。光明うるとをちり。法然と人うこの
山新しるりあり。西山流宗光年うるとして永新宮
とおあるくれ化雲わり

花乃久い山と所葉ケ丸安部むらとて乃てれ板へひ[illegible]

葉室

葉室の宮い葉室ケ[illegible]ろと面ふろり宮後朔氏の[illegible]よ

山山の葉室とそみろこれ行の葉室山乃ろり丸世ケ乃面ケ

これ世の葉室の宮室ろ和ろ室ろ室ろ人ろ室ろ

大原郡

紀ろと一宮いろ坤の方よろり。極武て宮ろ[illegible]ふろ[illegible]紫

と宮室ろうろ[illegible]ろひろ時。三笠山表日明神[illegible]裏

ろ和室ろ室ろて。宮后安部ろ文[illegible]室乃室和ろ[illegible]

がぐしとて春日宮和と山ろり。勅[illegible]ろり。文徳天宮

仁寿元年二月ろ乃卯日ろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]

ろ。ろ弁門伯ろろむ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]

大原や小塩乃山の小松葉室ろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]

大原郡大原や小塩の山の小松葉室と義とてろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]

大原や小塩乃小松ろ人ろ室ろて義ろ室ろ室ろ　物本部

小塩山　付良琴　三笠山

大原郡乃ろろり山と小塩山とて大原郡と小塩山との

ろろり。宮室伝紀乃古歌百仏法師乃[illegible]ろ

物ろり。良琴も山大原郡室ろ人ろろり。源美法師山

室ろり一宮ケ室と宮室ろ室。元亨釈書ろ室ろ室。

山ろりびよと結ろろり

大原や小塩乃山ろろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]

とろみ。宮室和氏乃千代乃山大原郡の仏[illegible]

ろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]

[illegible]

[illegible]

山ゝ京ゝ紫ゝ花ゝ

佐江野

小塩山乃ふもとわたの江田とて

小塩山乃ふもとの大原乃ゆ花やさえ海ちうん　鶴

又光孝乃ゆ

ゆゝ人今朝江世乃江の鶴ちん小塩乃山よ雪ちふりつ

冬ゝ三氷乃ち花蘭ち鶴ゆえ世の江よがてやとしでき鶴

向明神

京師ちと西ちあちうとて白明神わ

つ。正一位大明神とゝ

神江乃高速ちて

正五位人ち向乃明神いの江ちて海ちゆ花や

椿屋

大炊川乃川下ゝ京乃西ちあちうかの大炊川ゝ水ゝ

丹波山ちと向く清滝川ちゆ流ちて

て荒山乃ふもとを西ちよりて戸部流の野大炊川梅

津川桂川とゝ

碧ちて来ちう淀川とゝ

ちちゝ月とゝ

どやゝ人西江世ちゝ

南ゝ乃ちゝ

ひとゝ

ちゝ

ゆゝ

ゆゝ

ゆ

正月元日より十五日まで年毎に便補久として貴き
つとめを行ふ布衣と美しい袴のとをるくらう
花をれるとおいあらうとあや中たいわ蓋
ぶつと蓋面して紙の所と貴ゆくよ貴んといへぞ
きを紙の中よ法華二と結つまらう掃とまさし一張
ふと百張までも代に富くものんまく地ばくそのの結をそ
貴人夫婦の中高人夫中ぞと掃く事行うても
のそひまとを面くしめでたくつひでまくおとをいとを
を法ふうとぴと結をうやあさんに新さふふ
これに紙園の大神人をりやまる結の屋ふ掃の男ふや
その間おとをふぞ
為部ふうの屋の月とよ名ふ
屋の月のもわくにふふ九秋宏こふひに

久世 付 福田寺

久世の里に大原野の下地に福田寺とて後
恵法師の住ところなり。性空後恵法師とは
元来僧にしつ久しくてこれに寺あまたて。草
ふるく掃わつまをつくられど
有ふの板井の清水とまをまして月をとまして茅ふるに
掃こしにわそれるふうふ
まりつ。お茶毋原ひつぐ
古掃よ板井の清水ひつぐ茅をくよつと飲りけるれ

琴の浦 付 清板

は掃ぬ久世の里のうひくうありぬ（管絃恵法師）
深ふりかぐそれるひ
たぐ屋ふひ和と一世と深じたまとい日あぐ

あり〻〻ゆるぎ坂わりく(ゆるぎ)の下り

白ゐるゆるぎ坂山のねもとにやすらてゆるぎ和もゆるぎ

今ハ昔浮の橋もうるびて板ハ折くちふまし浮まし

こゝ中さゝ称わりゐ(ゐ)くふまり

昔浮の橋と浮まこうてしたん(ん)むんとあるやうにちんれて

山崎 付 爆(ばく)る

京ゐ(ゐ)ゐ面ゐ(ゐ)ゐ(ゐ)ゐ(ゐ)

とづ屋くやどに宿りてうつろひぬる山清乃うなゐ
ありて祢緒吳服乃池の
祢宜伯俊の社　付久我
山清乃ありあり久そ乃るゝよ久我の里わり久我
乃森いなかり
祢宜まてとゝ人の社だの社乃森乃ちかあまに
祢宜ひ山井はよりゝ祢宜ひ乃ひ山とよあ
ふハ大和りありゝ祢宜伯俊とゝ乃ひ社と
ゝ利
かさゝ乃ゝ河あるゝ宮ゝ祢宜ひ乃社
とゝ乃ゝいゝ乃森とゝ乃ゝふ寺地ゝくかゝゝとけゝ
祢宜ひ乃森の風ゝ乃ゝ海ゝ木の紅とゝゆゝひ花ゝ
みゝ山清

山清乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ伊勢乃ゝ祢宜ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃

ちりのまそらにおもかをつきれ村の梢よりあく河ゑ　賀茂神

伊勢寺

ゑ柳村のあるらしもしり伊勢がとこをきる而と迦伊勢さ
みくしこの花ちりかて行たしわらく伊勢ゑ貴国寺よ
つと六代乃花厳伊勢ゑ絶差乃ひとめとして宮ゑ
ゑ乃居七條の中文殊官女ゑり伊勢地絶八十伊を
が掌他ゑりとそ花ちりこふ住ゑりとりやを須ち
乃ゆくりゑと伊勢ゑ院石乃若ゑく陳出ちりとい
おゑ安房

ゑるゑ伊を物院ゑるやとれむりしくふゑ古寺